



# 2023年度 目標発表 (部門)

NO	種類	発表部署名	ページ
1	センター	がん診療センター (ゲノム、相談含む)	1
2		健診センター	3
3		遺伝相談室	5
4		認知症疾患医療センター	7
5	院長直下	医療安全推進室	9
6		感染対策室	11
7		教育研修センター	13
8	看護部	看護部	15
9	薬剤部	薬剤室	17
10		臨床研究管理室	19
11	医療 技術部	放射線診断技術科	21
12		放射線治療技術科	23
13		臨床検査技術科	25
14		リハビリテーション技術科	27
15		臨床工学科	29
16		栄養管理室	31
17		臨床支援技術科	33



NO	種類	発表部署名	ページ
18	地域医療 支援セン ター	地域医療連携室	38
19		入退院管理室	40
20		医療・福祉相談室	42
21	事務部	病院総務課	44
22		医事課	46
23		経営企画課	48

## 2023年度目標

# がん診療センター



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

- ・がん遺伝子パネル検査 年間100件  
うち、新規(もしくは適応拡大)薬物治療導入 3件
- ・がん遺伝カウンセリング 年間20件
- ・中東遠医療機関とのゲノム医療連携体制の整備
- ・放射線治療、外来化学療法治療症例数の維持



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

今年3月1日付けで、中東遠医療圏唯一の  
がんゲノム診療連携病院に認定され、がん遺伝子  
パネル検査が施行可能になったが、

- ・当院常勤の遺伝カウンセラーが不在
- ・中東遠医療機関からの検査受け入れ体制が  
不十分



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

- ・遺伝カウンセラー養成にむけた  
サポート制度の確立
- ・神経内分泌腫瘍に対する  
放射性核種標識ペプチド治療  
(Peptide Receptor radionucleotide therapy: PRRT)の確立



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

# 決意表明

---

- ・最新かつ安全ながん診療を提供する
- ・がん診療(特にゲノム関連)に関する情報を地域住民に提供する
- ・生き方を大切にするがん治療を行う



## 2023年度目標

# 健診センター



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

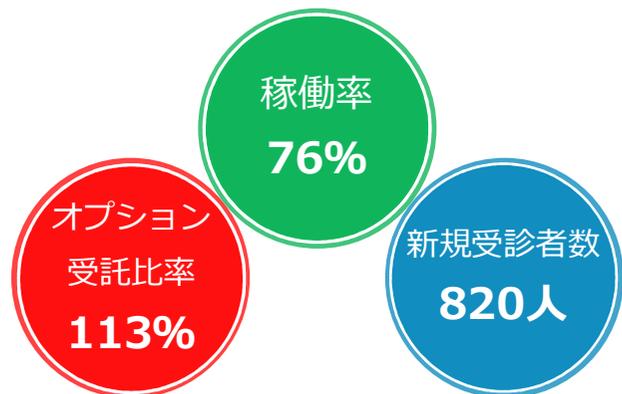
- 1日人間ドック稼働率アップと平準化
- 受診者側からの要望の多様化
- 健診事後対応の充実
- 健診システムの有効かつ効率的運用
- 業務の効率化・簡素化



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### ◆ 1日人間ドック受診者数の向上



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### ◆ 特定保健指導実施率と保健指導の質の向上

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
実施率	40.9%	56.5%	66.8%	66.9%	68.0%



協会けんぽ生活習慣病健診受診者へ健診当日の場で特定保健指導の実施



2024年度からの第4期特定保健指導を見据え、実施率だけでなく改善率を高めるよう準備



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### ◆ 健診事後対応の充実

労災二次健診受診希望者への場の提供

	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
件数	16件	14件	15件	140件	180件

労災二次健診とは

職場の健康診断等で異常所見が認められた場合、脳血管・心臓の状態を把握するための二次健康診断及び脳・心臓疾患の発症の予防を図るための特定保健指導を1年度内に1回、無料で受診することができる制度

厚生労働省「労災保険二次健康診断等給付」 [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_05927.html#:~:text=](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_05927.html#:~:text=)

## 2023年度の新しいチャレンジ

### ◆ 人間ドック食のリニューアル

スマートミール認証をふまえたメニューの検討

### 「健康な食事・食環境」認証制度

健康づくりに役立つ栄養バランスのとれた食事のこと。  
複数の学協会からなる「健康な食事・食環境」コンソーシアムが認証を行います。

【コンソーシアム参加団体】

日本栄養改善学会 / 日本給食経営管理学会 / 日本高血圧学会 / 日本糖尿病学会 / 日本肥満学会 / 日本公衆衛生学会 / 健康経営研究会 / 日本健康教育学会 / 日本腎臓学会 / 日本動脈硬化学会 / 日本補綴歯科学会 / 日本がん予防学会

## 2023年度の新しいチャレンジ

### ◆ 受診者の利便性向上と業務の効率化

#### 【インターネット予約】

- ・ 空き情報の把握
- ・ 時間外で予約可能

#### 【インターネット問診】

- ・ 受診時間の短縮
- ・ 当日施設内の混雑回避

#### 【インターネット健診結果閲覧】

- ・ スマートフォン等での閲覧で健診結果を身近に
- ・ 健康診断結果の診療への活用が容易に

## 決意表明

・ サービスの質の向上に努めます

・ 既存受診者の定着、新規顧客の獲得に努めます

・ 継続かつ安定的な受診者の確保に努めます



## 2023年度目標

# 遺伝相談室



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

- ・臨床遺伝専門医は院内に1人
- ・本来の所属科との両立
- ・他科からのコンサルトへの対応



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

- ・コンサルト症例に対して、遺伝学的診断への適切な支援を行う
- ・遺伝外来と遺伝カウンセリング加算の維持
- ・大学からの臨床遺伝専門医および臨床遺伝カウンセラー派遣の維持



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

- ・当院で診断した症例(4世代に遺伝する低フォスファターゼ症)を国際学会に投稿した
- ・上記について、英文での論文発表を行う



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

# 決意表明

---

- ・診断が着けられそうだからではなく、本当に患者に有益かどうかよく考えた上で、必要な遺伝学的診断を行う
- ・個人としては、臨床遺伝専門医指導医の取得を目標とした診療（小児・周産期・成人・腫瘍領域全てに関わることが必要）を行う
- ・がん領域はがんゲノム診療センターさん  
よろしくお願いします



## 2023年度目標

# 認知症疾患医療センター



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### ○認知症鑑別等の体制強化に向けた取り組み

1. 認知症鑑別件数 33件→40件/年間以上  
外来枠の増加が見込めないため鑑別診断件数は、現状維持を目指す。
2. 専門医療相談件数 174件→ 200件/年間以上  
他の診療科からの認知症相談を増やすよう他科への働きかけを行う。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

### ○認知症鑑別等の体制強化に向けた取り組み

現在の外来枠は、2枠(月・木)のみであり、外来枠の増加は見込めない状況にある。

### ○地域の認知症対策への貢献

新型コロナウイルスの影響のため、リモートでの研修会開催や事例検討会などの開催に制限があった。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### ○地域の認知症対策への貢献

1. 人材育成  
地域の関係職種を対象とした 認知症ケア研修を開催する。(12回/年)  
認知症のある方が地域に戻っても、高い水準のケアを受けることが出来るよう、包括ケアシステムの強化を図る。  
今年度は4期生の募集を行い、16名の申込を得た。  
現在までに急性期・慢性期・訪問看護のスタッフ合計33名が、認知症サポーターとして活躍中！！



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### ○地域の認知症対策への貢献

#### 1. 人材育成

コロナ下で開催出来なかった認知症ケア研修の履修者(1~3期生 33人)を含めた事例検討会を行い、学びの振り返りや今年度の参加者と交流することを通して支援の強化を図る。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### ○地域の認知症対策への貢献

2. 地域の住民や関係職種を対象とした研修会や講演会を5回以上実施し、顔の見える関係づくりを目指す。
3. 専門医療相談を行い、認知症専門診断管理料1(700点)を5件以上取得する。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

### ○認知症の方向けのマフを活用した地域支援

認知症マフは、認知症により不安症状が出現している方がマフに触れてもらうことで精神的安定を示す効果が報告されている。

そのマフの活用を通して地域の方と顔の見える関係を作り関係強化を図る。



使用例



活動に賛同してくれた患者さん作



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 決意表明

『認知症になってもできる限り住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために』

〈新オレンジプラン〉

院内・院外問わず認知症施策の関係機関と引き続き情報交換を行い、認知症の発症予防や初期対応に努め、地域生活の維持に必要な医療を提供していくとともに、診療報酬に繋げていけるよう努力していきます。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度目標

# 医療安全推進室



## 自部署の課題

1. 改善策への評価不足
2. 根拠不明示なマニュアル記載事項
3. 患者間違い
4. 医師の取り組み不足
5. 医療の質向上へのシステム不足



## 医療安全2023年度の目標

	年度重点目標	具体策と指標
①	改善策を評価し部署のレジリエンスを高める	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 改善策担当部署の明確化事例が起こった部署として取り組む</li> <li>・ 定期的に担当部署を評価改善策の効果判定</li> </ul>
②	マニュアル記載事項に根拠を明示する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 策定された過程を明示委員会、WGとの関連付け（電子ファイルとのリンク付け）</li> </ul>
③	患者間違いの防止	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機械認証の積極的な導入 外来手術、検査患者にIDバーコード装着 食札へのバーコード印字</li> <li>・ 患者確認方法遵守に対する院内ランド</li> </ul>

## 医療安全2023年度の目標

	年度重点目標	具体策と指標
④	医師の医療安全活動を促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医師からのヒヤリハット、オカレンスレポート数を看護師からの件数の10%（200件/年） 研修医 10件/年（JCEP評価）</li> <li>・ 医療安全研修会への参加率向上 専門医機構認定共通講習として行なう</li> </ul>
⑤	医療の質向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ RSS (Rapid Response System)の活用 リスク感性の向上→RST出動回数 数件/年 死亡事例検討会・M&amp;Mカンファレンスからの振り返り</li> <li>・ 地域連携医療安全相互チェックの継続 近隣病院との安全度のベンチマーク策定</li> </ul>



## 2023年度の新しいチャレンジ

当院の医療の質を可視化

- 入院患者の転倒・転落発生率
- 入院患者での転倒転落による3 b以上の発生率
- リスクレベル「中」以上の手術患者の肺血栓塞栓症予防対策の実施率



「医療の可視化プロジェクト」の指数と比較検討



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 決意表明

コロナ感染対策により患者・家族との協働意思決定に基づく安心・安全の医療の文化醸成が後退した

医療者・患者・家族に心理的安全性を担保し、医療の質を高めます



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度目標

# 感染対策室



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### 1. COVID-19感染防止対策の実施

医療機関としての対応の継続

国の基準を元に当院の対応を検討・実施・周知と現場への確認

### 2. プロセスサーベイランスを盛り込んだサーベイランス結果のフィードバック

定期的な手指衛生実施状況、刺入部・接続時消毒状況確認

ケアバンドル実施状況の確認を通じて実現する

### 3. 新興・再興感染症、耐性菌対策の実施

手指衛生実施状況・個人防護具装着状況の確認と結果のフィードバック

国の基準・ガイドラインに応じた対応

他院との対策の情報共有と院内での活用



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 課題

### 1. サーベイランス結果の活用

デバイス、SSI、血液体液曝露サーベイランスを実施しアウトカム(感染率・発生件数)の報告は行った。しかし、サーベイランス過程確認(プロセスサーベイランス)を含めたフィードバックが不十分であった。

### 2. COVID-19に対する意識低下の可能性

COVID-19は5類感染症移行による国の対策緩和やウイルス変異による感染者数増加の可能性がある。感染対策への意識低下により院内発生リスクが増加する可能性がある。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### 4. 薬剤耐性菌対策の実施

抗菌薬適正使用の推進

大腸菌LVFX耐性率 28%以下(昨年28% 国目標30%以下)

### 5. 他施設・保健所との連携

中東遠院内感染対策カンファレンス・認定看護師連絡会の活用

連携施設間との情報共有・相談、院内への還元

### 6. 血液体液曝露対応

年間30件以下(昨年34件) 穿刺針の見直し 眼への粘膜曝露検討

発生情報の通知(ICTニュース等を通じて) 研修会の開催



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### 7. 感染防止対策研修会の開催

全職員対象年2回対面形式による実施(抗菌薬適正使用・体液曝露・手指衛生)  
平均参加率95%以上 多部署での勉強会開催



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

### 感染対策のDX化

#### 感染症発生報告システムの構築

今後の新興感染症対策  
電子媒体による発生入力報告システムの構築  
複数発生者情報の一元化  
氏名、発症日、経過観察・就業制限期間などの自動化

#### サーベイランスデータ収集

電子カルテから必要なデータ収集の自動化



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

感染管理認定看護師教育B課程(特定研修も含む)実習施設として教育研修室・看護部と協力して研修生の受け入れと送り出し

・研修生からの実習担当を通しての評価を受け次年度への改善を図る。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 決意表明

- ・実習施設として他院のモデルとなる病院へ
- ・感染対策DX化への計画



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度目標

# 教育研修センター



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標 「教育研修センター」

### 【臨床研修センター】

#### 「目標」

#### 1 医師確保策

医科初期研修医マッチング応募者55名 (前年度比+17%)

新しい取り組み  
“Challenge!”

#### 2 指導医の確保と質の向上

プログラム責任者講習会・指導医講習会の一括管理



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 課題

### 「教育研修センター」

### 【教育研修センター】

人材育成の教育プランが多様化する中で、現行での人材育成支援では医療の質を維持するために十分といえない。

特にキャリアパスを見据えた人材育成支援や人材確保が課題であるとする。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標 「教育研修センター」

### 【人材育成センター】

#### 「目標」

- ・専門研修(キャリアアップ)の推進  
共通講習会のさらなる推進強化



専門医更新、取得に必要な講習会の開催3カ年計画の  
「共通講習開催計画策定」 作成



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

# 決意表明

地域医療診療体制を安定的に継続するために

## 【人材育成センター】

人材育成を重視した「キャリアプラン策定」を検討します。

## 【臨床研修センター】

さらなる“医師確保策”及び

“指導医の確保と質の向上”を検討します。



## 2023年度目標

# 看護部

## 自部署の課題

1. 安全で質の高い看護の提供
2. 患者満足度向上に向けた看護の提供
3. 働きがいのある、働き続けられる  
職場づくり
4. 人材育成と活用
5. 病院経営への参画



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年看護部目標

1. 専門性の高い知識を持った  
看護師の活用
2. 地域連携の推進
3. IT化による業務改善により  
負担の軽減を図る
4. 特定行為指定研修機関開設と運用



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度目標評価指標

1. 看護外来を充実させる  
糖尿病合併症予防(足病変)の適切な  
研修を終了している看護師の増員と  
フットケア外来枠の増加  
骨粗鬆症リエゾン外来 15件/月
2. 地域包括支援センター・訪問看護  
ステーションと協働で地域住民向けの  
勉強会を年2回開催



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度目標評価指標

3. HRジョイント導入により、バイタルサイン  
入力時間が20%削減できる
4. 10月開設  
次年度に向け、新しい講座の開講  
準備ができる



## 2023年度の新しいチャレンジ

特定行為指定研修機関として  
外部からの  
受講者獲得にむけての  
体制整備



## 2023年度の新しいチャレンジ

働きやすい職場、  
働きがいのある職場づくりを  
目指して  
環境整備をおこなう。



## 決意表明

医療DXを推進し、  
活用することにより  
安全で質の高い看護を  
提供する体制を整える



## 2023年度目標

# 薬剤部・薬剤室



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

- 人材の確保  
全国的な病院薬剤師の不足の中で  
産休・育休への対応
- 認定や専門などの資格取得拡大  
薬剤師配置の各医療チームの増加
- 医療連携の推進  
地域での継続的な医療の提供



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

- 薬剤管理指導実施率 **90%以上**  
(薬物治療を受ける全ての患者さんへ)
- 退院時指導実施率 **65%**  
(退院後も安心・安全な薬物治療を)
- 総合評価調整加算 **120件/年**  
(ポリファーマシー対策)



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

連携強化をふまえ

- 退院時薬剤情報連携加算 **50件/年**  
(退院後の継続した治療のために)
- 連携充実加算 **100件/年**  
(化学療法を安全に)



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

- 認定・専門薬剤師の育成  
(各資格において複数人での取得を)
- 後発品使用体制加算の取得継続  
(体制加算1使用率90%以上かつ収値50%以上)
- バイオシミラーの使用促進  
(抗癌剤などのBSへの変更→医師に提案)



## 2023年度の新しいチャレンジ

DXを進めるために

『院外処方箋における  
疑義照会簡素化プロトコルの作成』

業務の効率化を図り、対人業務時間を  
創出し目標を達成する



## 決意表明

地域との連携を強化し  
魅力ある薬剤部に！

患者からもスタッフからも  
信頼される薬剤師を目指します

**Vibrant Pharmacist**



## 2023年度目標

# 臨床研究管理室



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### 【資格取得の推進と人財の活用】

- ・昨年度新たな認定CRCが誕生
- ・事務局関連資格(GCPパスポート)も新たに取得

→ 更なる認定CRCの増員(人財育成)  
取得した資格を活かした質の向上



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

# 「研究のお作法」の周知

→研究全般への理解を得られるための  
取り組みがまだまだ不十分



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### 【治験実施件数の増加】

新型コロナ収束とHPの大幅改訂後から  
治験依頼・選定調査が徐々に増加

2022年度新規治験受託2件、約450万円

→ 2023年度は  
実施件数、収益とも2倍を目標に



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### 【「研究のお作法」の更なる周知】

- ・臨床研究研修会の実施(7/14予定)
- ・ニュースレター発行(隔月)等広報の充実
- ・いつでも気軽に相談できる窓口

「大切な患者さんの情報を正しく有効に活用して、次の患者さんに還元して欲しい」



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

### 医療DXに着手する！

まずは、治験審査委員会(IRB)資料の  
電子的共有から



初回審議資料は  
ノートPC2倍以上の厚さ！

→ タブレット端末の使用を検討(SDGs)



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

### 【問題点】

- ・秘密保持契約を締結した創薬における機密文書の漏洩をどのように防ぐか
- ・電子化するための手順書改訂、依頼者協議が必要
- ・高額なシステムの導入が難しい

↓

☆今活用できるシステムを模索し

関係者のみ閲覧でき、外部への漏洩を防ぐ

☆部分的に導入している近隣医療機関との情報共有や  
院内関係部署へ協力をお願いする



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 決意表明

新型コロナウイルス感染症が収束しつつあり、令和4年度は複数の新規治験立ち上げや過去最高実施数となった指針研究等への参加を研究者が積極的に実施してくださり、そのサポートに注力しました。

今年度もそれを継続しつつより質の高い治験・研究が実施できるよう、スタッフ各々が取得した資格を活かし、患者からも依頼者からも選ばれる医療機関になるよう努力します。



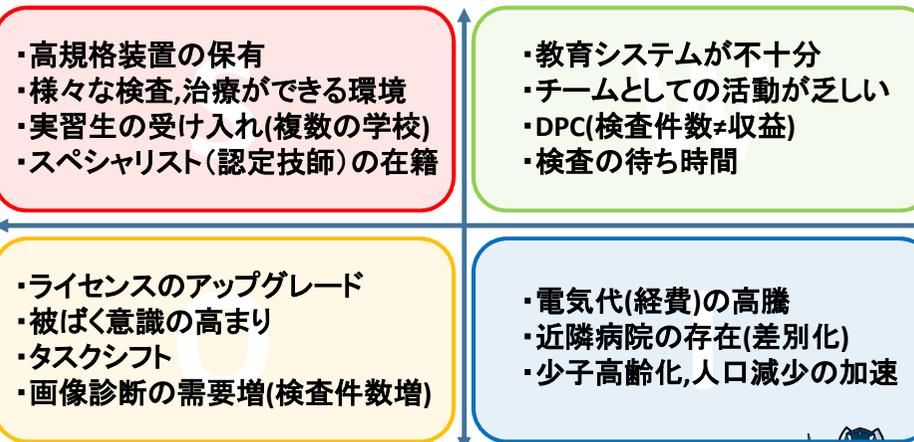
磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度目標

# 放射線診断技術科



## 自部署の課題



## 自部署の課題から目標へ

### SxO(積極攻勢)

- 高い専門性の追求(医療の質)
- 業務範囲を拡大し,柔軟な検査・治療体制 (タスクシフト)

### WxT(リスク回避)

- 配置・資材・環境・システムの再考(生産性)

### SxT(差別化)

- 選んでもらえる病院としての強みを強化

### WxO(弱点对策)

- 人材の活用
- 被ばくへの関心を高める



## 2023年度の目標

- 高い専門性,タスクシフト



- ・積極的な認定取得  
世代を考慮した認定取得  
これまで保有していない分野での取得も視野
- ・RI検査の技師によるRI注入の促進  
医師レスでのRI注入の拡大  
昨年度**61件** → 今年度**250件**を目標



## 2023年度の目標

### ●選んでもらえる病院としての強み



・学会発表を通して当院のPR  
高い専門性の維持

・幅広い実習生の受け入れ  
優秀な人材確保の足掛かり  
昨年度**2校3名** → 今年度**4名**を目標



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

### ●生産性



・医療資材の見直しによる経費削減

・手術件数増加への貢献  
手術室担当をローテーション化  
円滑な手術のための積極的なサポート



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

### ●人材育成,被ばくへの関心



・教育体制の構築  
若手技師・実習生への教育,指導方法の検討

・被ばく相談員,医療被ばく低減施設認定取得  
(数年計画)  
近年の患者の「被ばくへの関心」に応える



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 決意表明

- 病院利益の貢献
- 技師の育成,教育
- 被ばく管理



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度目標

# 放射線治療技術科



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

- ◇ 放射線治療件数の増加
- ◇ 業務の効率化
- ◇ 働きがいのある職場環境の構築
- ◇ 個人のスキルアップ



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### ◇ 放射線治療人数の増加

実人数 420人 (2022年度 378人)

定位放射線治療 85人 (2022年度 72件)

IMRTの割合 50%以上(2022年度 57%)

### ◇放射線技師法改正による告示研修

全員終了 (残り5名)



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### ◇ 専門資格の合格

3名以上 (放射線治療専門技師、X線CT認定技師等)

### ◇ 時間外の短縮と平均化

平均時間外 220時間 (2022年---277時間)

時間外差 150時間 (2022年---252時間)

個人の出来る作業の増加により、平均時間外と  
時間外差の低減(2022年度、特定の人々の時間外が多い)



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

### ◇ デジタル機器利用による作業効率の上昇

#### ・タブレット使用による患者説明

放射線治療の部位別患者説明をパワーポイント、音声変換アプリで作成し活用する。



## 決意表明

- ◇ 放射線治療センターが一丸となり目標達成を目指します。
- ◇ 患者さんに優しく、より正確で治療効果の高い治療を目指します。
- ◇ 働きがいのある職場にします。



## 2023年度目標

# 臨床検査技術科



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

- ① 積極的に多様なニーズに対応
- ② 検査技術の精度向上(認定取得技師の育成)
- ③ 個人の能力向上(幅広い業務への対応)
- ④ 発信と提案による改善活動の推進
- ⑤ 風通しが良く、活気があふれる職場の実現



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

- ①ご意見記録簿を確実に運用し、患者や他職種のニーズに迅速に対応する。
- ②検査精度の向上
- ③仲間を思いやり、活気があふれる職場の実現



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の数値目標

- ① ISO15189 認定維持 → 更新審査クリア
- ② ご意見記録簿報告数 → 5件以上/月
- ③ 外部精度管理調査 → 総合評点 95点以上
- ④ 採血待ち時間20分以内の比率 → 90%以上
- ⑤ 時間外勤務の削減 → 36協定達成率:100%
- ⑥ 検体検査業務委託経費率 → 60%以下
- ⑦ タスク・シフト/シェアに関する厚生労働大臣指定講習会修了者 → 80%以上

New



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

### ① がん診療センター業務への介入

- ・ 臨床検査技師のがんゲノム医療コーディネーター育成
- ・ 遺伝子パネル検査運用の確立
- ・ がんゲノム問診票、システム入力支援
- ・ エキスパートパネル開催支援 40件/年

体制確保のため、業務の共有化を推進し、検査業務のカバー体制を強化



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

### ② 複数の業務スキルを持つ人材の育成

- ・ 複数部署の兼務やローテーションの導入
- ・ 取得した認定資格やスキルを無駄にしない



急な欠員にも対応できる組織体制構築  
職員が実現したいキャリアプランへの支援

今年度、検体検査より生理検査へ 中堅1名、若手1名でトライ



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 決意表明

### 「信頼される検査室」

～院内からも院外からも

目標とされる検査室になる～

“医療の原点は思いやり”の基本理念のもと、  
仲間を思いやり、風通しが良く、  
活気があふれる職場の実現をしていきます。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度目標

# リハビリテーション技術科



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

1. PT・OTスタッフ1人・1日あたりの単位数増加

14.8単位(2022年度) ➡ **17.0**単位

・PT体制変更後の検証と推進

・STは、

単位数については昨年同等を維持

今年からはVF・VEへ注力する

目標件数 VF :100件/年  
VE :50件/年



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

- ・単位数が伸び悩んでいる
- ・嚥下機能検査数が伸び悩んでいる
- ・がんリハ資格を全員取得していないため、人員要因の取り漏れがある
- ・早期離床リハ加算の施設基準が未達成



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

2. がんリハの人員要因による取り漏れを防ぐため、資格取得者を増加させる。

有資格者 **+4人**

がんリハ算定割合

65%(2022年度) ➡ **70%**



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

3.早期離床リハ加算の施設基準を満たし、**10月**より算定開始をする。

- ・早期離床リハチームの設置
- ・毎日のカンファレンス
- ・プロトコールの作成



## 2023年度の新しいチャレンジ

- ・リハ科医師と共に、早期離床リハ加算の施設基準を満たし、**10月**より算定開始する



## 決意表明

### リハ科医師と共に

より**早期**に より**多く**のリハを提供できる体制を構築します。



**ADL・QOL**向上に寄与し、円滑な早期退院・転院に貢献します。



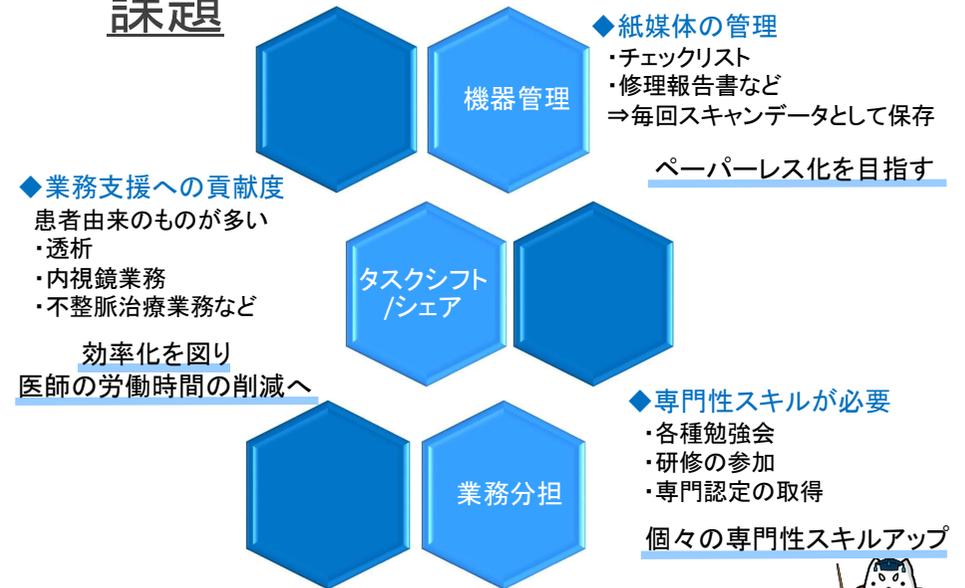
# 2023年度目標

## 臨床工学科



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

### 課題



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

### 2023年度 数値目標

機器管理	
・定期点検実施率	100%
・修理対応率(CE修理/総修理)	70%
・委託点検費用の削減	600万円
血液浄化	
・透析施行回数	18,000回
手術室	
・術中操作立会い率	90%
・点検実施率	100%
・スコープオペレーター介入率	30%
心臓デバイス管理 心・血管カテーテル	
・遠隔管理モニタリング診療導入率	85%以上
・EVT(末梢血管治療)清潔介助介入率	100%
・CAG、PCI清潔介助介入件数	100件
内視鏡	
・上部内視鏡検査介助件数	2,000件



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

### 2023年度 目標

第3次中期計画実施
<ul style="list-style-type: none"> <li>・効果的なタスクシフトの継続(業務、人員)</li> <li>・近隣透析施設との災害時支援体制の構築</li> </ul>
各種対応
<ul style="list-style-type: none"> <li>・多用化する透析治療への対応と機器自動化による業務効率の向上</li> <li>・手術機器類管理の充実</li> <li>・新規デバイス、不整脈治療の充実</li> <li>・内視鏡室機器類管理の充実とスコープ類修理費用の削減</li> </ul>
Vibrant Hospitalの実現
<ul style="list-style-type: none"> <li>・医師負担軽減に向けた取り組み</li> <li>・診療報酬加算の取得(血液浄化、遠隔モニタリング等)</li> <li>・機能評価の維持(S評価)</li> <li>・専門性スキルの向上(呼吸、代謝、循環器、内視鏡、周術期、情報)</li> </ul>



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度 チャレンジ ①

### 機器自動化による業務効率の向上

- ・ オートプライミング
- ・ 自動回収の導入

### 心・血管カテーテル領域での医師支援

- ・ **血管外科(1名)医師の負担軽減**
- ・ EVT(末梢血管治療)2nd、3rd介入率 100%維持
- ・ ※2~3件/月
- ・ 1症例平均3時間 医師の労働時間 年間72時間~108時間の削減
- ・ **多忙を極める循環器内科医師の負担軽減**
- ・ 2022年度(CAG 622件、PCI 203件)循環器内科医師の負担大2nd介入により循環器内科医師の働き方改革へ



## 2023年度 チャレンジ ②

### 機器管理、支援体制の充実

- ・ 下部内視鏡検査の介入

### 多職種との連携

- ・ 多職種カンファレンスの開催、心臓植込み型デバイスチーム

### 知名度、認知度向上のための広報活動

- ・ 展示イベントの開催、SNS等での発信



## 決意表明

CEの強みを活かし  
タスクシフト/シェア  
をリードしていく



## 2023年度目標

# 栄養管理室

## 自部署の課題

- ・がん患者への栄養相談・栄養指導
- ・個人のスキルアップ
- ・個別対応食が必要



## 2023年度の目標

外来化学療法室での栄養指導件数 400件／年

周術期栄養管理実施加算取得 540件／年



## 2023年度の目標

入院栄養指導件数 1800件／年

化学療法食の提供開始



## 2023年度の新しいチャレンジ

新たな化学療法食提供開始にむけて

食欲不振食 1 軽食スタイル

食欲不振食 2 さっぱりデザート食



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 決意表明

個々の能力を活かしチーム(栄養管理室)に貢献する。

患者さんから信頼される管理栄養士でありたい



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度目標

### 臨床支援技術科 【歯科衛生士】



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

医療の質への  
取り組み  
不十分

新人教育  
マニュアル  
の未完成

労働力不足



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

- 周術期口腔機能管理 I・II 算定数  
→1000件/年
- 周術期口腔機能管理料Ⅲ 策定数  
→1700件/年
- 新人教育のためのマニュアル整備
- スキルアップのための資格取得



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

タスクシフトへ向けて業務量の見える化と整備を行っていく

→非資格者へ業務の移行を検討



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

# 決意表明

算定数増加を目標とし、維持・継続していくことで病院の収益へ寄与していく

新人職員の計画的なスキルアップを図っていく

タスクシフトを通し専門職として患者さんへ万全の態勢で医療を提供していく



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

# 2023年度目標

## 臨床支援技術科 【臨床心理士】



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

### 臨床心理士の現在の課題

- ・コロナ禍心理臨床 → 本来業務の患者支援が十分に行えない状況であった
- ・人員不足(1名欠員) → 質・数の担保・維持に必要なマンパワーがない

改めて、「患者支援の質の向上」を目指し、必要としてもらえる「職種」「人材」となる

### 【2023年度】各領域の目標

**周産期・小児科** 中期計画 **地域とともに実現する良質な小児・周産期医療の提供**

**周産期** 出産・子育てにおける親子のメンタルヘルスケア

- ・「ほっとサロン」「パパママ教室」の充実化
- ・保健師等連携会議への参加継続、地域連携強化

質の向上

**小児科** 障害特性に応じた心理検査・心理療法の提供

- NEW!!** 新しい心理検査を導入！より専門的な心理介入を提供
- ・CPT連絡会に参加し院内外のマルトリートメント患児の早期発見・早期対応を図る仕組み作りに協力

地域連携・貢献



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

### 【2023年度】各領域の目標

**がん・緩和ケア**

中期計画

患者相談支援体制の充実・啓発活動  
がん患者が安心して地域で暮らせる環境作り

**NEW!!** がん患者の自殺予防対策

- ・対応フローの作成と運用（医療チームが精神保健専門職と連携しやすい環境作り）
- ・研修会の企画・開催（医療スタッフの教育・スキルアップ、医療の質向上への貢献）

質の向上

**専門性の高い心理介入、意思決定支援**

- ・AYA世代がん患者への包括的支援、多職種連携の強化（AYAサポートチームの活動）
- ・「認定がん専門相談員」の養成

地域連携・貢献

**さまざまながん患者・家族の支援に貢献**

- ・「がんサロン」の通常開催、ミニ講座での心理教育
- ・遺族ケアとして「グリーフケア」リーフレットを発行（がん相談支援センターの活動）

**職員のこころの健康**

中期計画

職員のメンタルヘルスの充実に向けた取り組みを推進し、  
活き活きと働ける職場環境整備

人財育成

- ・院内段階別研修(2年目職員向け)「コミュニケーション・メンタルヘルス」研修に参画



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 【2023年度】決意表明



## 2023年度目標

### 臨床支援技術科 【臨床支援士】



## 自部署の課題

- ・個人毎に業務量の偏りがある

担当科や個々の経験により、業務量に差がでてしまう。

↓ ↓ しかし

専門的でない内容の診断書の作成であれば経験年数に関わらず作成できる。



## 2023年度の目標

- ・担当科の垣根を越えたフォローアップ体制を整え、個々の業務量の是正を図る

→昨年度までサブ業務のローテーションを行った。

全員が一般的な診断書作成を担当科に限定せず、作成することで、業務量の是正を図る。



## 2023年度の新しいチャレンジ

ゲノム診療センターへ1名担当者を配置し、  
新たなニーズへ対応。

医師の負担軽減に務めます。



## 決意表明

他部門と協力し、個々がスキルアップすることで、  
業務量、業務範囲を拡大し、

医師の負担軽減および患者様の満足度向上を

目指します！



## 2023年度目標

### 臨床支援技術科 【視能訓練士】

## 課題

- ・検査件数の増加
- ・検査技術の精度向上
- ・幅広い業務への対応



## 2023年度の目標

### ①眼科検査の受入れ強化

- ・委託検査を他院にアピール
- ・検査スキルアップで質の高いデータ提供が出来る

### ②業務内容の共有

- ・業務全般を理解することで、誰もがフォロー可能な体制をつくる事が出来る



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

### 眼科処置室の運用

- ①処置室対応を学ぶ
- ②清潔操作を学ぶ
  - ・手術室で行っていた硝子体注射時の介助業務を外来で安全にスムーズに行えるようにする



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 決意表明

わたしたち視能訓練士は  
眼科を盛り上げ皆様の眼を守ります

検査だけできるのではなく深い知識を身につけ  
少しでもお役に立てるよう 微力ながらお手伝い  
させて頂きたいと思っております



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度目標

# 地域医療連携室



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 地域医療連携室の課題

- ・患者さんのご紹介に繋がる「診療のご案内」の改訂が必要
- ・地域から「スムーズな救急搬送」の要望が多いため、救急搬送における検討が必要。
- ・近隣の医療機関が対象となる感染対策カンファレンスや訓練の開催において、感染対策室のサポートが必要



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 地域医療連携室の課題

- ・将来的にオンライン予約の導入を見据えた検討が必要
- ・電子カルテ更新に向け、地域連携システムの検討が必要



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

- ・オンライン予約の導入、地域連携システムの将来を見据え、必要な条件や機能の情報を集める。**DX**
- ・病院、介護施設との連携を強化し、救急搬送患者連絡票の運用を検討する。
- ・診療内容のPRや紹介に使える「診療のご案内」を提供する。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の数値目標

取組項目	数値目標
連携医療機関紹介割合	初再診減算50%以上
連携医療機関逆紹介割合	初再診減算30%以上
医師との医療機関訪問	年間20件
市民公開講座開催	年間2回開催
出前講座	年間40回開催
学校のがん教育	年間8回開催
全ての非がんパス合計利用件数	10件

## 2023年度の新しいチャレンジ

- ・地域の医療機関が分かりやすく、紹介に使える「診療のご案内」の編集を行う。
- ・救急搬送連絡票の運用を検討する。



## 決意表明

院内も、院外とも、連携強化に繋がる  
「顔の見える関係」の構築を目指します。



## 2023年度目標

# 入退院管理室



## 自部署の課題

- 院内外からの依頼・要望増加



業務の複雑化・煩雑化



## 2023年度の目標

- 業務整理と業務改善
  - MSWと連携した入院支援・退院調整
  - 医療DXによる業務改善



## 2023年度の目標

項目	数値目標
PFM診療科の拡大	1診療科拡大
カンファレンスの推進	退院前カンファレンス 150件／年
平均在院日数	10日台をキープ



## 2023年度の目標

項目	数値目標
退院時共同指導料2	80件/年
多機関共同指導加算	40件/年
介護支援等連携指導料	90件/年



## 2023年度の新しいチャレンジ

★多職種協働で入退院支援

★転院調整業務のクラウドサービス導入検討



## 決意表明

患者の意向に沿った退院支援・退院調整

効果的な病床管理

を目指します



## 2023年度目標

# 医療・福祉相談室



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標①

1. 重症患者初期支援加算取得  
8月より加算取得 対象患者の30%以上の介入
2. 院内教育の開催  
医療メディエーション(基礎編)の院内開催 1回
3. 相談に関する診療報酬算定に関わる人材育成  
がん相談 4名 医療メディエーション研修 3名  
重症患者対応メディエーション研修 1名以上



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

1. 重症患者初期支援加算取得に向けた準備が不十分
2. 院内メディエーションに関する職員教育の開催が新型コロナウイルス感染症により中断している
3. 相談実績の充実と質の向上への取り組み
4. 新規業務拡大に向けた取り組み



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標②

4. 相談実績充実(気軽に相談出来る場所として認知される)と質の向上  
相談件数の充実 7,000件以上  
前年度、総相談件数(よろず・医療・肝疾患・医療福祉・認知症・遺伝・就労援)6,813件  
相談のスキルアップを図る・・・1人 2回/年以上の研修会・院外  
連携参加と部署内共有  
必要図書の購入
5. MSWの入退院支援への参画・連携強化  
入院受付への配置・病棟退院支援への担当配置



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

# 2023年度の新しいチャレンジ

## 重症患者初期支援 メディエーション導入

重篤な患者・家族と医療者との間に入って、両者間を丁寧に繋ぐことで、患者・家族の意向表明・意思決定支援を行い、医療者にも満足感が得られるよう、調整を担う「調整役」となります。

重症患者初期支援充実加算  
1日につき300点入院日から3日間

## MSW入退院支援業務 への参画

入退院支援室と連携し、看護師と協働しながら、MSWの視点を持って入退院支援を行います。  
入退院支援を行いながら社会的問題のある患者の対応を行っていきます。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

# 決意表明



様々な職種がいることが強み  
相談室皆で協力し合い  
「ここで相談して良かった」  
と言われるように  
患者、家族のために  
当院で働くスタッフのために  
常にチャレンジしていきます。

令和5年5月15日 日直

三尾 植平

今年度  
採用者  
2名  
よろしく  
どうぞ



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度目標

# 病院総務課



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

- (1) 職員定数の改正
  - ・定年年齢引上げによる職員数の増加への対応も含めた職員定数の改正が必要
- (2) 医師の働き方改革
  - ・医師労働時間規制対応のため特定労務管理対象機関の指定を受ける必要がある
- (3) 危機管理体制の強化
  - ・コロナ禍により十分に行えなかった防災訓練等の防災対策の強化



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

- (4) 施設・設備の狭隘化・老朽化
  - ・老朽化している施設の計画的な修繕が必要
- (5) 駐車場の不足
  - ・慢性的な駐車場の不足
- (6) Withコロナへの対応
  - ・コロナ禍で実施できなかった会議・活動の再開
- (7) 病院総務課の働き方改革の推進
  - ・慢性的な残業過多
  - ・昔ながらのやり方をしている業務の見直し



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

- (1) 職員定数の改正
  - ・定年年齢引上げによる職員数の増加等に対応できるよう職員定数を改正します
- (2) 医師の働き方改革への取り組み
  - ・国の医療機関勤務環境評価センターの評価受審及び県医療審議会の指定を受けます
  - ・勤務間インターバル、代償休息等を制度化し、職員へ周知します



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

- (3) 危機管理体制の強化
  - ・防災訓練の充実を図ります
  - ・防災マニュアル・BCPの見直しを行います
- (4) 施設整備の新設・更新
  - ・内視鏡センター・栄養管理室厨房の実施設計を行います
  - ・施設修繕計画を見直します
  - ・ファシリティマネジメントを導入します



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

- (5) 駐車場の増設
  - ・新たな駐車スペースを確保し、70台の増設を目指します
- (6) コロナ後の病院運営の正常化
  - ・運営懇話会を再開します
  - ・病院ボランティアの活動を再開します
- (7) 業務効率化の推進
  - ・業務改善や業務のデジタル化を推進します(5つ以上)



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

病院総務課職員の働き方改革を実施するため以下の取り組みを行います。

- 業務マニュアル・チェックリストの作成
- 共有フォルダの整理・整頓
- 年間スケジュールの作成
- グループ内打ち合わせの実施
- システム化・デジタル化の推進



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 決意表明

- あいさつが飛び交う、明るい職場をつくれます
- 業務には前向きに取り組めます
- 業務改善を進め、定時帰宅を目指します
- すべての職員がやりがいを持ち、生き生きと働ける職場環境の整備に努めます



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度目標

### 医事課



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 自部署の課題

### 1. 未収金の早期回収

- ・診察・退院当日の支払完了が原則
- ・分割支払完了日の前倒し

### 2. 未収金額の縮減

- ・納付期限内の一括支払いが原則
- ・初回支払額の比重増



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### 1. 未収金の早期回収

- ・患者設定完済日の1ヶ月前倒しを誘導
- ・督促、催告の適時実施

### 2. 未収金額の縮減

- ・患者設定支払予定額の1割増額を誘導
- ・債権回収外部委託の強化



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の目標

### 数値目標

(単位: 千円)

年度	R1	R2	R3	R4	R5
過年度	78,112	68,431	66,842	74,355	71,000
現年度	20,957	22,143	33,159	29,918	28,000
総額	99,069	90,574	100,001	104,273	99,000



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

### 1. 窓口対応フローシートの作成

未収金対応職員が支払額の増額、完済日の前倒しの誘導につなげる窓口交渉のフローを明確化。

### 2. 弁護士事務所への回収委託強化

現行委託している弁護士事務所に加え、新たな弁護士事務所への再委託を実施。



## 決意表明

☆未収金を発生させないという  
強い姿勢で臨みます。

☆支払手段や回収方法を見直し、  
未収金の削減に努めます。



# 2023年度目標

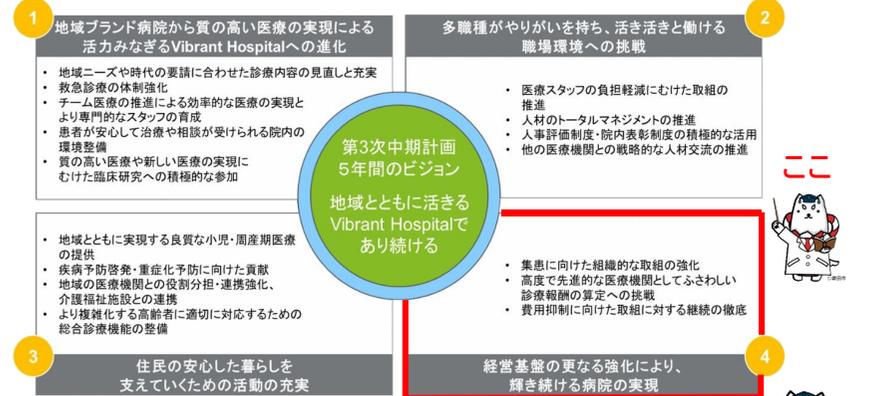
## 経営企画課



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

# 自部署の課題

## 第3時中期計画の重点取り組みテーマ



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

# 2023年度の目標

経営基盤の強化	中期計画の着実な進捗管理に努める	実施計画達成率 70%以上
	収支改善策や価値向上策などの提案	5件以上
	病院機能評価の更新受審と改善の推進	S評価9件(10%)以上 A評価79件(90%)以上 B評価以下 ゼロ!



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

# 2023年度の目標

健全な財務体質	物価上昇等に対応するための経費削減	診療材料コスト前年以下
	コロナ関連補助金に依存しない財務管理	経常収支比率97%以上
	監査指摘事項を踏まえた適切な会計処理	監査等における重大指摘事項0件



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 2023年度の新しいチャレンジ

### ○ 公立病院経営強化プランの策定

- ・量の拡大から質の改善へ転換
- ・コロナ禍収束に向けた視点の切り替え
- ・職員アンケートの調査結果をもとに経営改善策を検討
- ・第3次中期計画の進捗状況を反映した経営数値の見直し
- ・職場環境の改善、働き方改革を推進



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital

## 決意表明

経営企画課は、「**縁の下の力持ち**」

として病院経営に貢献したいと考えています。

私たち、経営企画課のお客様は、「**病院の職員の皆様全員**」  
です。

「**明るく楽しく、そしてスピーディーに**」

をモットーに、何事にも真摯に対応しますので何でもご相談  
ください。今後とも、どうぞよろしく申し上げます。



磐田市立総合病院  
Iwata City Hospital